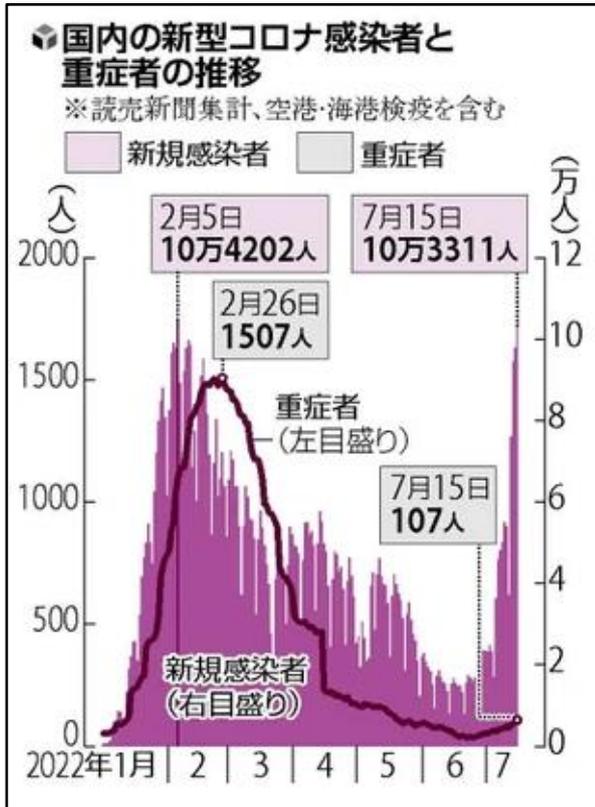


コロナ新規感染、最多に迫る10万3311人…重症者は第6波ピークの7%

2022/7/15 読売新聞

政府は15日、新型コロナウイルス感染症対策本部の会合を開き、「第7波」のための新



たな対策を決定した。行動制限は行わないとし、「新型コロナと併存しつつ平時への移行を慎重に進める」と明記。ワクチン接種と検査、換気の徹底を呼びかけた。15日の国内の新規感染者は第6波ピーク時以来5か月ぶりに10万人を超え、過去最多に迫った。

石川県、コロナ感染レベル2に引き上げ…6月末に引き下げたばかり

会合では政府のコロナ対応の指針となる基本的対処方針の改定も行い、新たな対策を反映させた。岸田首相は会合で、「社会経済活動と感染拡大防止の両立を維持するため、世代ごとにメリハリの利いた対策を徹底する」と強調した。

新たな対策では、感染力の強いオミクロン株の新系統「BA・5」の流行で感染者急増が続く可能性があるとしつつ、重症者や死亡者数は低い水準にあるとし、行動制限ではなく世代ご

との効果的な対策を重点的に行うとした。

高齢者に対してはワクチン4回目接種を促し、高齢者施設利用者には帰省した親族と会うことが多いお盆などに合わせた検査を推奨する。施設職員は週2、3回の検査を行う。

若者などには、高齢者と接する前や大人数での会食前の検査を勧める。3回目接種は、特に接種率が低い20～30代に接種を呼びかけるとした。

学校現場では地方自治体や学校の判断により、部活動の大会や修学旅行の前などに何らかの症状がある人の検査実施を促す。

夏場は冷房使用で様々な場所で換気が不十分になる恐れがあるとして、効果的な換気方法を周知、推奨することも明記した。

ただ、今後、ウイルスの変異や感染者数の大幅な増加で医療が逼迫ひっばくする場合については、「行動制限を含む実効性の高い措置を講ずる」とした。

**政府が呼びかける身近な感染対策のポイント**

**高齢者**

- ▶ 60歳以上のワクチン4回目接種を呼びかけ
- ▶ 高齢者施設の利用者は親族と会うことのお盆などの検査を推奨

**若者や子ども**

- ▶ 帰省で高齢者と接する前や、大人数での会食の前の検査を推奨
- ▶ 特に20～30代のワクチン3回目接種を呼びかけ
- ▶ 感染状況に応じ、部活動の大会や修学旅行の前に、症状がある人の検査を促す

**換気**

- ▶ 屋内の効果的な換気方法を周知、推奨





15日の国内の感染者は読売新聞の集計で、10万3311人となった。10万人を超えるのは2月5日（10万4202人）以来、2回目。都道府県別では東京都が1万9059人、大阪府9745人、神奈川県7603人など。青森、和歌山、福岡、熊本、鹿児島の5県では過去最多を更新した。

全国の重症者は107人と前日から7人増えたが、第6波のピークだった1507人（2月26日）の7%にとどまっている。14日時点の病床使用率は、和歌山と熊本、沖縄の3県で50%を超え、東京32%、大阪29%となっている。